

社会学演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

菅野 博史

1. 授業の概要(ねらい)

社会学とは何か? 概念的に理解することはもちろん大事だが、それを実際に使ってみる、つまり「社会学を実践してみる」ことは、それ以上に大事な事柄である。この演習は、そうした問題意識のもと、さまざまな社会的な問いに対して、自ら考え、調べ、解答を与えることを目指す。

社会学演習 I では、自己とは何か、自分とは誰かという大きな問いに対して、自分なりの答えを導き出すための準備作業を行う。まず『〈ほんとうの自分〉のつくり方』を輪読し、自己というものが社会的に構成された、いわば社会的な実体であるという視点について理解を深める。次にそれを踏まえて、『「若者」とは誰か: アイデンティティの30年』を読むことで、若者たちが置かれてきた社会的状況の歴史的な変遷を俯瞰しながら、多元的アイデンティティとも呼ばれる、現在の若者たちの自己のあり方がどのようなものとして形成されてきたのかを検証していく。最後に、『人間は9タイプ 仕事と対人関係がはかどる人間説明書』を読み、自己とは何かという問いに対するエニアグラムによる解答をヒントにしながら、就活に向けた自己理解、自己分析を深めることを試みていきたい。なお授業の進め方としては、各章ごとにレポーターがその内容をまとめるレジュメを作り、皆の前でそれを発表したうえで、質疑応答や議論を行うという形式をとる。

2. 授業の到達目標

社会的な問いを自ら立て、それについて調べたうえで、自分なりの解答を与えることができる。

社会の問題を発見し、社会を構想することができる。

調査・研究の成果をもとに論理的な主張を展開できる。

社会の成員としての自己を理解し、他者に対して寛容な態度をとることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への出席状況(3分の2以上の出席は最低条件)、プレゼンテーションの内容、授業中の発言、等々を総合的に勘案して、平常点をベースにして評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

榎本 博明 『〈ほんとうの自分〉のつくり方』2002年 講談社現代新書

浅野 智彦 『「若者」とは誰か: アイデンティティの30年』2013年 河出書房新社

坪田 信貴 『人間は9タイプ 仕事と対人関係がはかどる人間説明書』2016年 KADOKAWA

5. 準備学修の内容

取り上げられている文献の内容につねに目を通すとともに、わからない点や疑問点をチェックし、ゼミの場での質疑応答に備えること。また自分の発表用のレジュメを作成すること。

6. その他履修上の注意事項

あまり深刻にならずに楽しくやりたいと思います。演習科目は毎回の積み重ねが大事ですので、欠席をしないで授業に積極的に参加して下さい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 【第1回】 | 社会学演習 I についての説明 |
| 【第2回】 | レジュメの作り方(榎本、第一章で例示)と発表の順番決め |
| 【第3回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第4回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第5回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第6回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第7回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第8回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第9回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第10回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第11回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第12回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第13回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第14回】 | 履修学生による発表とディスカッション |
| 【第15回】 | 春期・授業のまとめ |